

取組事例 4 株式会社 坂本鉄工所

妻崎開作の約 80 年の歴史のある鉄工所となります。

総務部長の坂本様にお話を伺いました。

<https://sakamoto-iw.co.jp/>

○健康経営の取組について

これまでの認定状況

健康経営優良法人(中小規模法人部門)を2020 年から2025 年まで

6 年連続取得。

健康経営に取り組んでいる目的や方針

従業員の高齢化が進み、若い世代の育成がうまくできていないことを感じていたので健康経営に取り組むことで改善したい。

体制について

安全担当 1 名、製造部・総務部の 5 名の職員が中心に実施。

取り組んでいる内容(主なもの)

作業現場での安全取組を中心に実施。特に暑い時期は熱中症対策に注力している。また、健康センター(事業所部門)メルマガなどの健康に役立つ資料をプリントアウトして設置し、自由に持ち帰りできるようにしている。現場などでリアルに会うことが難しい社員にも会社支給のタブレットで teams チャットや WEB 会議で連絡し情報を共有している。健診受診率は 100% で協会けんぽの保健師による特定保健指導も活用している。

取り組んだ結果や効果

健康経営に取り組むことで、従業員にも健康に対する関心が高まっていると思う。年々酷暑となっているが、熱中症での搬送や受診は発生していない。

今後の目標や計画

市の出前講座を活用するなど禁煙対策に取り組みたい。

○熱中症対策

- ①労働安全衛生規則の改正に伴う経営責任の強化について監督者へ周知
- ②報告体制・手順・周知を従業員に周知、ポップ掲示
- ③WGBT 値を現場で測定、隨時注意喚起
- ④朝礼等でアラート情報など熱中症に関する情報を関係者も含め周知
- ⑤環境整備

- ・麦茶などの飲料の提供(現場・作業場では大容量の保冷タンクで)
- ・塩分補給のための塩タブレットの提供
- ・社内統一の空調服の支給
- ・スポットクーラーや工場扇の設置
- ・休憩室で横になれるよう畳ベンチの設置



2025年 熱中症 諸施策に関する

施 策

- ① 法改正に伴う経営責任の部分を中心に社内監督者クラスへ教育
- ② 法改正に伴う、報告体制・手順・周知をポップアップ整備、説明
- ③ 作業中、WGBT計測にて隨時注意喚起（各監督へは、ポータブルWGBT計着用を指示）
人數の多い現場は、大型のWGBT計測器を用意し職人等へ周知
- ④ アラートや熱中症に関する情報を朝礼等々で、社員や職人、協力会社関係者へ周知
特に客先での工事時は、弊社監督にて朝・昼・退社時 それぞれ体調チェックし記入
- ⑤ 環境の改善
 - ・ 現場では飲料の例年通り提供 午前・午後 各1回
(溶接作業エリアでは特定化学物質予防規則等の関係により飲食禁止のため苦慮)
工場では飲料提供と常時エアコンを作動し、冷所の避難場を設置
 - ・ 塩分補給のため、例年通り塩タブレット等を常備
 - ・ 空調服の支給（社内統一品）
 - ・ 直射日光等をブラインドできない現場箇所へはスポットクーラーの設置
 - ・ 現場室内・倉庫内等は、同じくスポットクーラーや工場扇の設置

実施効果

- ・今夏は継続中ではあるものの、当社関係での作業中(帰宅後も含め)熱中症と思われる搬送や受診、症状は現在のところ発生していない

今後検討

- ・溶接エリアにおける飲食禁止について、再考の余地かなりあり
- ・夏シーズンにおける現場ハウス内への冷蔵庫常設と
水分補給のアイテムの増を要望（現行冷蔵庫有無はバラつき）
- ・WGBTの値による、作業停止等々の判断・工期の関連

施策①



施策②



施策③



↑ 大型WGBT計測器
W1000×H1500

施策⑤

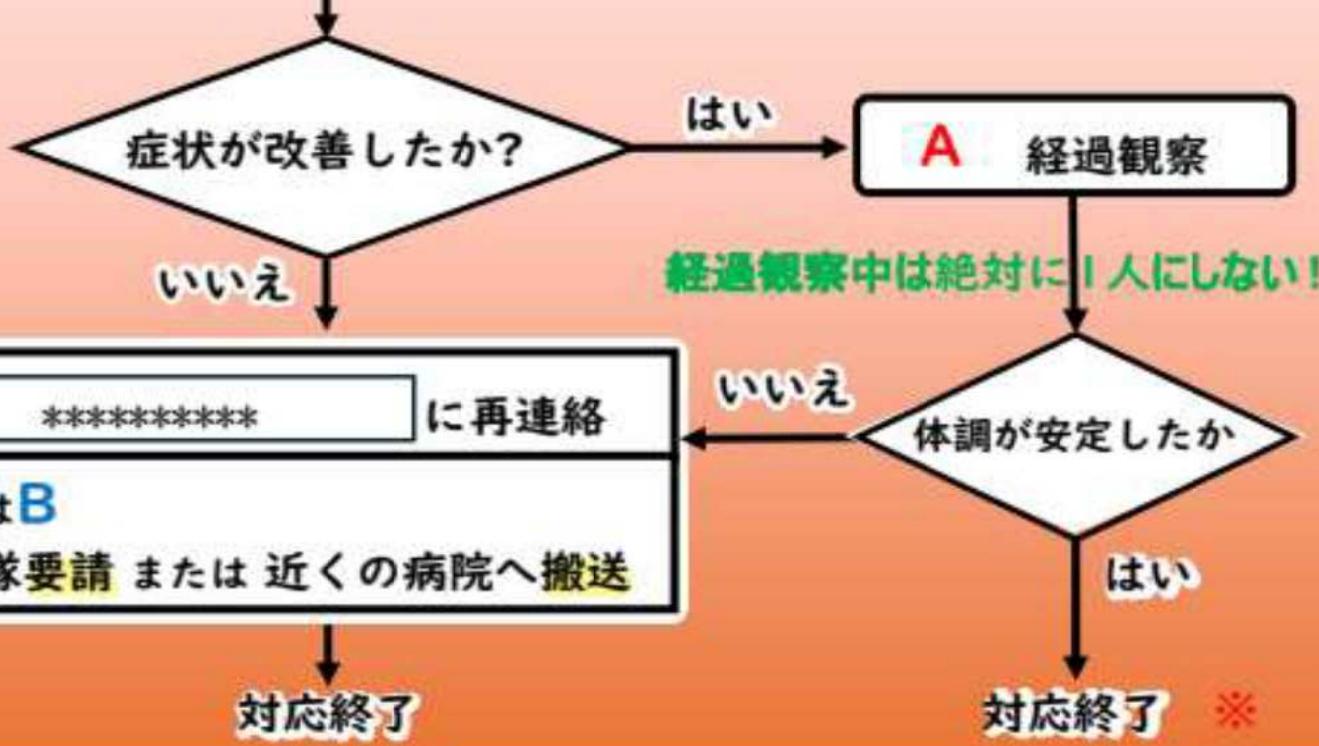


タブレットは現場ハウスにも常備

「熱中症」対応フロー

- A** ・熱中症発症または熱中症患者発見
B + + + + + に連絡
 ・作業を中断して応急処置

A：あなた
 (発症者・発見者)
B：現場監督者



熱中症のおそれがある時の連絡体制

① 現場監督者

担当者： *** ***

TEL： ??? (???) ????

- 上記連絡先に連絡がつかない時は応急処置や救急隊要請を優先し、事後に連絡すること。

② 救急・近隣病院

救急隊要請

119番！

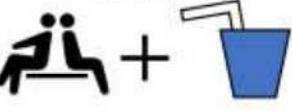
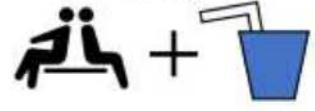
同時に顧客担当者へ連絡を入れる！

(救急隊へ工場内、誘導等のため)

* 仕事が終り帰宅後でも、体調が少しでも悪いと感じたら、すぐに救急隊を呼ぶことや病院を受診すること。（熱中症は一旦、回復後に症状が悪化するケースがあります！）

WBGT値と作業負荷に応じた水分・塩分補給と休憩時間

山口工場
環境安全課

WBGT(°C) 熱中症警戒レベル	重・中負荷作業		軽負荷作業	
	監視・点検・パトロール以外		監視・点検・パトロール	
	水分・塩分補給 	休憩 	水分・塩分補給 	休憩 
31°C以上 危険！ 	30分に 1回以上	30分に 1回以上	30分に 1回以上	
28°C以上31°C未満 厳重警戒！ 	30分に 1回以上		60分に 1回以上	60分に 1回以上
25°C以上28°C未満 警戒！ 		60分に 1回以上	60分に 1回以上	60分に 1回以上
21°C以上25°C未満 注意 	60分に 1回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・タイベック（不織布の服）やヤッケ（撥水加工の服）等の着用ではWBGT値にプラス2~3°C加えて補正のこと。 ・カッパ（防水加工（不透湿性）の服）等の着用ではWBGT値にプラス10~12°Cを加えて補正することとし特別な管理が必要。 ・この表は身体を冷却する服の着用をしていない等、特段の熱中症予防対策をしていない場合に適用。 		



熱中症の予備軍 『隠れ脱水症』の見つけ方

株式会社 坂本鉄工所

尿の色でセルフチェック

①

いい感じです。普段通りに水分をとりましょう。

②

問題はありませんが、もう少し給水しましょう（カップ1杯程度）。

③

1時間以内に約250mlの水分をとりましょう。
屋外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。

④

今すぐ250mlの水分をとりましょう。
屋外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。

⑤

今すぐ1000mlの水分をとりましょう。
この色より濃い、あるいは赤／茶色が混じっているときは、
脱水症状以外の問題が考えられます。すぐに病院に行きましょう。

身体の水分量が不足

②～⑤
水分を補給して
身体の水分量を
回復させましょう

⑤より濃いときは
すぐに報告して下さい

重症度Ⅰ度 現場での応急処置で対応できる軽症

症状 1 かお
めまいや顔のほてり

症状 2 きんにくつう きんにく
筋肉痛や筋肉のけいれん

重症度Ⅱ度 病院への搬送を必要とする中等症

症状 3 からだ は け
体のだるさや吐き気

重症度Ⅲ度 入院して集中治療の必要性のある重症

症状 4 たい おん たか ひ ふ い じょう
体温が高い、皮膚の異常

症状 5 よ はん のう ある
呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない

症状 6 すい ぶん ほ きゅう
水分補給ができない

その他の症状

症状 7 あせ
汗のかきかたがおかしい



重症度 1度

- ・めまい
- ・立ちくらみ
- ・気分が悪い
- ・手足のしびれ

2度

- ・頭痛
- ・吐き気、嘔吐
- ・体がだるい
- ・力が入らない

3度

- ・返事がおかしい
- ・体がひきつる
- ・まっすぐ歩けない
- ・体が熱い

現れる 症状と 重症度

医療機関へ

入院

日本救急医学会の分類から

経口補水液の 作り方

砂糖
20～
40g

塩
3g

水
1L

神奈川県立保健福祉大の
谷口教授による

1日に飲む量

成人 0.5～1L

幼児 0.3～
0.6L程度

- ・レモン汁を入れると甘さが抑えられ飲みやすくなる
- ・熱中症の時は0.5～1Lを目安にできる限り早く飲む。それ以外の時はゆっくり飲む

気をつけるポイント

教えて「かくれ脱水」委員会から

- 暑さを避ける服装



- 風通しを良くする



- 無理な節電をしない

- 気温、湿度を下げる

熱中症に注意!

水分補給を 忘れずに

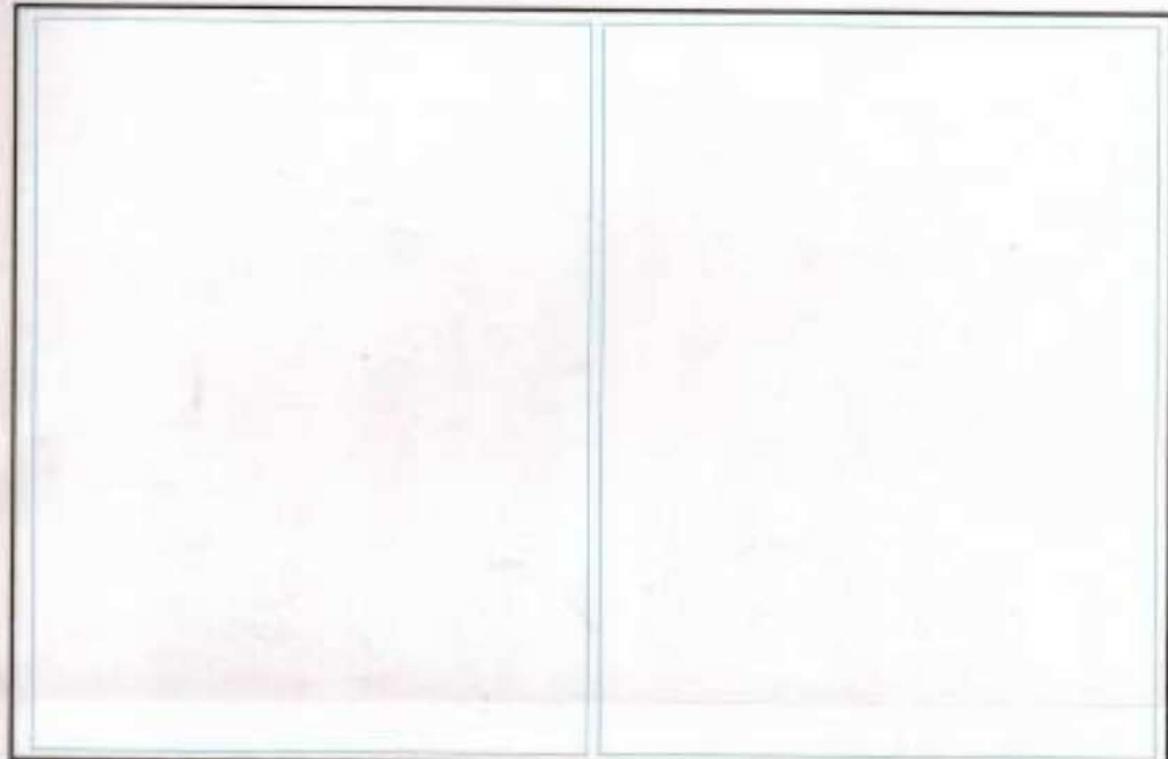


こまめに
休憩しよ!!

ツバサ先輩
©aremokoremo



現在のWBGT値



°C

気温 _____ °C 湿度 _____ %

危険	31°C
厳重警戒	28~31°C
警戒	25~28°C
注意	25°C未満

株式会社 坂本鉄工所